

## キュアファーム

富士宮市青木・北山・上井出で野菜を育てている有機農家です。キュアファームのキュアは癒すという意味でつけました。

地元は富士ですが、大学とその後の研究のため東京に7年、震災支援で宮城に10ヶ月いました。初めから農業をやりたいかつたわけではなく、地球温暖化に関わる利害関係を探っていく過程や支援活動を通して、農業に無限の可能性を感じるようになりました。

価格高騰や食の安全性が叫ばれるのであれば、安く安全な食料を供給する必要がある、ということから私の農業は始まりました。農薬や化学肥料を使わないので、雑草や虫とうまく付き合い、大量に生産して価格を下げる道を模索



ニンニク畑に立つ筆者

### キュアファーム 石上 寛朗

就農:平成26年4月 畑の場所:富士宮市 青木、北山、上井出  
培面積:畑100a 栽培作物数:25種類  
主力作物:ミニトマト、玉ねぎ、にんにく など  
連絡先:curefarm.web.fc2.com/index.html



し、悪戦苦闘しつつも充実した日々が早くも3年経ちました。次の世代の礎になれるように動き続けようと思います。(2015年3月記)

### 「そもそも有機農業とは？」

ひとくちに有機農業と言っても、使う堆肥や肥料など人によって千差万別です。基本的には「化学的に合成された農薬や肥料を使わない」「遺伝子組み換え技術を使用しない」のが有機農業と言えます。

日本には「有機JAS認証」というものがあり、この認証を取得しないと「有機野菜」として野菜を販売してはいけません。しかし、有機農業だけでなく有機JAS認証をとっていない、という農家が多いです。その数は認証を取得している農家の倍で、富士山麓有機農業推進協議会のメンバーでも取得している人はいません。

なぜかと言うと、農家によって理由はいろいろあると思います。費用と労力がかかるわりには、売り上げが増えないと考えている。また有機JAS認証は、「使ってもよい農薬」というのが定められていて、その農薬を使っても有機野菜と言えるなど、制度として疑問が残るものだから、といった理由が挙げられると思います。

ということで、有機JAS認証を取得していない有機農家が「有機野菜です。無農薬です」と言って販売するときは、買ってもらう人との「信用・信頼」関係で成り立っていると云えます。逆に言うと、この農家なら大丈夫、という信用と信頼でしか成り立っていないとも言えます。

だからこそ、野菜を買ってもらう人に畑を見てもらって、いろいろな話をするということが大事で、そういう機会を増やしていくことが必要です。

その仕組みのひとつとして、協議会のメンバーの有志で「生きもの認証」という制度に取り組み始めているところですよ。

これはいろんな生き物(虫・微生物・草など)がいる畑や田んぼにしていく、生物多様性を豊かにしていく、そのことを農家と消費者が生き物観察などを通して確認していくといった認証制度で、有機JAS認証に代わる制度として広めていきたいと思っています。

(ふじの宮したの畑 宮下亮太)